

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市中央区蘇我コミュニティセンター	千葉市中央区蘇我コミュニティセンター ハーモニープラザ分館
条例上の設置目的	千葉市コミュニティセンター設置管理条例（抄） （設置） 第1条 本市は、市民のコミュニティ活動のための施設として、次のとおりコミュニティセンターを設置する。	
		千葉市ハーモニープラザ設置管理条例 （抄） （設置） 第1条 本市は、社会福祉の増進並びに男女共同参画社会の形成及びコミュニティ活動の促進を図るため、市民の自主的な活動及び交流の場を提供するとともに、各種の事業を行う施設として、次のとおり千葉市ハーモニープラザ（以下「プラザ」という。）を設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	コミュニティ活動を促進し、市民の連帯感を醸成することで、市民主体の住みよいまちづくりを推進すること。	
ミッション （施設の社会的使命や役割）	・コミュニティ活動の場を低廉な料金で安定的に供給すること。 ・地域の特性を踏まえ、コミュニティ活動の契機となる事業を企画・実施すること。 ・コミュニティ活動を行う上で必要とされる情報発信の場となること。	
制度導入により見込まれる効果	公の施設の管理運営に民間事業者の有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上や管理経費の縮減につなげる。	
成果指標※	① 施設稼働率（諸室） ② 施設利用者数（スポーツ施設）	
数値目標※	① 63.9%以上／指定期間最終年度(加重平均を採用)	① 44.9%以上／指定期間最終年度(加重平均を採用)
	② 39,000人以上／指定期間最終年度 ※個人利用者数及び専用利用者数を併せた利用者数	② 8,000人以上／指定期間最終年度 ※個人利用者数及び専用利用者数を併せた利用者数
所管課	中央区役所地域づくり支援課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	F u n S p a c e ・オーチャー共同事業体
構成団体 （共同事業体の場合）	F u n S p a c e 株式会社 株式会社オーチャー
主たる事業所の所在地 （代表団体）	東京都新宿区西新宿3丁目2番26号 立花新宿ビル8階
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年）
選定方法	公募による
非公募理由	
管理運営費の財源	指定管理料・利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

ア 千葉市中央区蘇我コミュニティセンター

成果指標	数値目標※	R6年度実績	達成率
施設稼働率（諸室）	指定期間最終年度／ 63.9%以上	62.7%	98.1%
	【参考】令和6年度／ 63.3%以上		【参考】99.1%
施設利用者数（スポーツ施設）	指定期間最終年度／ 39,000人以上	34,676人	88.9%
	【参考】令和6年度／ 38,514人以上		【参考】90.0%

イ 千葉市中央区蘇我コミュニティセンターハーモニープラザ分館

成果指標	数値目標※	R6年度実績	達成率※
施設稼働率（諸室）	指定管理期間最終年度／ 45.0（44.9）%以上	46.4%	103.1%（103.3%）
	【参考】令和6年度／ 41.6%以上		【参考】111.5%
施設利用者数（スポーツ施設）	指定管理期間最終年度／ 8,000人以上	5,003人	62.5%
	【参考】令和6年度／ 7,800人以上		【参考】64.1%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。【参考】は指定管理者が設定した年度ごとの数値目標及び達成率を表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	R6年度実績
該当なし	

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		R6年度	【参考】 R5年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	124,706	122,223	実績－計画	0	
	計画	124,706	122,223	計画－提案	0	
	提案	124,706	122,223			
利用料金収入	実績	25,688	23,860	実績－計画	△ 2,205	主に、両館共にスポーツ施設の目標人数が達成されず、利用料金収入が計画額に達しなかったことによる
	計画	27,893	27,109	計画－提案	0	
	提案	27,893	27,109			
その他収入	実績	323	450	実績－計画	△ 35	陶芸窯使用料収入の減
	計画	358	350	計画－提案	△ 268	コミュニティまつり及びコピーサービスの自主事業化による減
	提案	626	613			
合計	実績	150,717	146,533	実績－計画	△ 2,240	
	計画	152,957	149,682	計画－提案	△ 268	
	提案	153,225	149,945			

イ 支出

(単位：千円)

費 目		R6年度	【参考】 R5年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	84,748	83,057	実績－計画	0	
	計画	84,748	83,057	計画－提案	0	
	提案	84,748	83,057			
事務費	実績	43,450	41,733	実績－計画	△ 3,803	主に、リース費及び分館光熱水費の減
	計画	47,253	45,817	計画－提案	△ 268	コミュニティまつり及びコピーサービスの自主事業化による減
	提案	47,521	46,080			
管理費	実績	10,158	9,804	実績－計画	△ 681	設備管理費の減
	計画	10,839	10,610	計画－提案	0	
	提案	10,839	10,610			
委託費	実績	3,740	3,487	実績－計画	△ 177	一般廃棄物処理費及び分館の清掃委託費減
	計画	3,917	3,878	計画－提案	0	
	提案	3,917	3,878			
その他事業費	実績	91	396	実績－計画	△ 109	備品購入費の減
	計画	200	320	計画－提案	0	
	提案	200	320			
間接費	実績	6,000	6,000	実績－計画	0	
	計画	6,000	6,000	計画－提案	0	
	提案	6,000	6,000			
合計	実績	148,187	144,477	実績－計画	△ 4,770	
	計画	152,957	149,682	計画－提案	△ 268	
	提案	153,225	149,945			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

- ・「事務管理費」として計上（提案書P56）
- ・経費の内訳及び積算根拠
代表企業本社にて行う業務（財務・労務・法務等の事務管理業務を一括して行う）の経費である。
具体的には、①事業計画の進捗管理補助、②役所報告書作成補助、③運営補助、④お客様対応サポート等 である。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		R6年度	【参考】 R5年度
自主事業収入	実績	12,801	11,199
その他収入	実績	0	0
合計	実績	12,801	11,199

イ 支出

(単位：千円)

費 目		R6年度	【参考】 R5年度
人件費	実績	8,448	7,340
事務費	実績	2,474	1,870
管理費	実績		
委託費	実績		
使用料	実績		7
事業費	実績		
利用料金	実績	1,639	1,242
その他事業費	実績		
間接費	実績		
合計	実績	12,561	10,459

間接費の配賦基準・算定根拠

人件費に含めているため、積算せず。

(3) 収支状況

(単位：千円)

		R6年度	【参考】R5年度
必須業務	収入合計	150,717	146,533
	支出合計	148,187	144,477
	収 支	2,530	2,056
自主事業	収入合計	12,801	11,199
	支出合計	12,561	10,459
	収 支	240	740
総収入		163,517	157,732
総支出		160,748	154,936
収 支		2,769	2,796
利益の還元額		506	411
利益還元の内容		(修繕予定) ①体育館カーテンBOX手前天井修繕 ②非常階段照明バッテリーの修繕	①体育館排煙窓雨漏り修繕 ②機械室扉・エントランス扉鍵修繕

※総収入及び収支は、四捨五入により、収入合計と一致して
おりません。

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

ア 千葉市中央区蘇我コミュニティセンター

評価項目	市の評価	特記事項
施設稼働率（諸室）	C	
施設利用者数（スポーツ施設）	C	

イ 千葉市中央区蘇我コミュニティセンターハーモニープラザ分館

評価項目	市の評価	特記事項
施設稼働率（諸室）	C	
施設利用者数（スポーツ施設）	D	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 -：対象外(市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理			
市民の平等利用の確保	C	C	
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実			
管理運営の執行体制	C	C	
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務			
施設の保守管理	B	C	両館共に計画額以上の修繕を実施している
設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保			
開館時間・休館日	C	C	
利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実			
利用者への支援	C	C	
利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施			
施設の事業の効果的な実施	B	C	自主事業参加者の要望に積極的に対応しつつ、両館共に10以上の新規事業を立ち上げ、夜間の利用や若い世代に向けた事業も実施している。
自主事業の効果的な実施			
4 その他			
市内業者の育成	C	C	
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
(ア) 使用目的が限られる諸室において活用方法を工夫し、施設稼働率（諸室）の向上に努められたい。	令和5年度	(ア) 和室2、多目的室、講習室3・4を楽器や音を出す目的での使用を可能とし、稼働が高い音楽室が利用できない際に、利用できるようにした。また、和室2にヨガの本を設置することでヨガの利用（多岐利用）を促進し、稼働率向上に繋げた。
(イ) ハーモニープラザ分館について、認知度の更なる向上に努められたい。	令和5年度	(イ) 近隣自治体（千葉寺青葉町自治会、青葉町自治会、青葉の森町内会）へ、毎月ハーモニープラザ分館の自主事業チラシの配布を行い、交流の場、文化・芸術の拠点、健康づくりのサポートなど地域の拠点となるよう努めた。また、子育てに取り組む福祉団体や、プラザ内（公共施設）との連携・協力により情報発信の場としての機能も果たした。さらに、デジタルデバйд対策としてスマホ相談を実施し、地域課題の解決の為の環境づくりも行い、全てにおいて認知度の更なる向上に努めた。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

ア 千葉市中央区蘇我コミュニティセンター

実施内容	調査方法	通常運営時における調査 年2回【(1) 8月、(2) 1月】 子育てリラックス館 年1回【(3) 7月】
	回答者数	(1) 838枚 (2) 1, 432枚 (3) 70枚
	質問項目	(1) 各施設毎の独自項目による (2) 全コミュニティセンター統一の質問内容 (3) 未利用者アンケート
結果	(1) 各施設毎の独自項目による 総合的には、利用者から満足を得ていると指定管理者は判断している。 <主な高い評価項目> ①スタッフの身だしなみ、②各部屋の清潔感、③受付の対応 <主な改善検討事項> ①設備・備品の充実度、②イベントの充実度、③各種情報提供の充実度 (2) 全コミュニティセンター統一の質問内容（カッコ内は市内15施設の平均値） 1 利用者について 市内在住が81.9%（81.6%）で、そのうち30.7%が中央区在住。 定期的な利用者が61.2%（65.3%）。自動車で訪れる割合が40.3%（49.3%）。 2 満足度 ①スタッフの対応・説明 大変満足19.1%、満足35.3%、普通22.8%、不満足0.5%、非常に不満足0.0%、未記入22.3% (31.6%) (43.4%) (20.6%) (0.3%) (0.1%) (3.9%) ②受付の待ち時間 大変満足23.8%、満足40.1%、普通29.6%、不満足1.3%、非常に不満足0.2%、未記入23.6% (30.0%) (39.0%) (23.8%) (0.7%) (0.1%) (6.4%) ③施設の清掃 大変満足29.9%、満足45.0%、普通22.2%、不満足0.8%、非常に不満足0.1%、未記入20.7% (34.7%) (41.2%) (19.6%) (0.8%) (0.1) (3.9%) ④設備の満足度 大変満足24.5%、満足39.5%、普通28.4%、不満足5.1%、非常に不満足0.7%、未記入20.9% (28.0%) (39.5%) (24.2%) (3.8%) (0.6%) (3.8%) ⑤備品の充実 大変満足22.2%、満足39.0%、普通32.6%、不満足3.2%、非常に不満足0.3%、未記入21.3% (25.9%) (37.3%) (28.5%) (3.2%) (0.4%) (4.7%) 3 コミュニティセンター利用による効果 文化活動への参加増5.0%（9.9%）、スポーツ活動への参加増15.6%（12.9%）、 レクリエーション活動への参加増6.6%（8.0%）、地域活動への参加増5.0%（6.2%）、 健康増進20.4%（23.4%）、地域との連帯感強化2.9%（4.3%）、 生涯学習13.8%（17.7%）、その他3.5%（4.8%）、未記入27.3%（12.7%） (3) 未利用者アンケートについて（子育てリラックス館） 利用者の高齢化が進む中で、若い世代の利用率向上を念頭に、若い世代への認知度を図る 目的で子育てリラックス館にて、未利用者アンケートを実施した。 蘇我コミュニティセンターの認知度は90.0%であるが、実際に利用したことがある 方は57.1%にとどまる。利用しない理由として、「何を行っている施設か知らない」 と回答した方が60.5%を占めており、当館には幼児室を始め、「子育て相談会、おはなし会、 木育」等の自主事業の実施や図書館に児童書がある事などを改めて周知する必要があると考える。 今回の調査では、20～30代が回答の95%を占めたが、情報収集の手段としては、SNSを含めた Web媒体が38.7%、ちば市政だよりが25.8%、家族友人等の口コミが21.8%となった。	

実施内容	調査方法	通常運営時における調査 年２回【（１）８月、（２）１月】 淑徳大学の文化祭 年１回【（３）１０月】
	回答者数	（１）２８５枚（２）６７９枚（３）６２枚
	質問項目	（１）各施設毎の独自項目による （２）全コミュニティセンター統一の質問内容 （３）未利用者アンケート
結果	（１）各施設毎の独自項目による 総合的には、利用者から満足を得ていると指定管理者は判断している。 ＜主な高い評価項目＞ ①スタッフの身だしなみ、②受付の対応、③各部屋の清潔感 ＜主な改善検討事項＞ ①各種情報提供の充実度、②イベントの充実度、③設備・備品の充実度、 （２）全コミュニティセンター統一の質問内容（カッコ内は市内１５施設の平均値） １ 利用者について 市内在住が81.9%（81.6%）で、そのうち50.2%が中央区在住。 定期的な利用者が65.4%（65.3%）。自動車で訪れる割合が56.4%（49.3%）。 ２ 満足度 ①スタッフの対応・説明 大変満足40.8%、満足43.4%、普通13.7%、不満足0.0%、非常に不満足0.3%、未記入1.8% (31.6%) (43.4%) (20.6%) (0.3%) (0.1%) (3.9%) ②受付の待ち時間 大変満足39.3%、満足37.0%、普通18.9%、不満足0.0%、非常に不満足0.3%、未記入4.6% (30.0%) (39.0%) (23.8%) (0.7%) (0.1%) (6.4%) ③施設の清掃 大変満足44.3%、満足41.8%、普通11.2%、不満足0.4%、非常に不満足0.3%、未記入1.9% (34.7%) (41.2%) (19.6%) (0.8%) (0.1) (3.9%) ④設備の満足度 大変満足40.5%、満足43.6%、普通13.1%、不満足0.9%、非常に不満足0.4%、未記入1.5% (28.0%) (39.5%) (24.2%) (3.8%) (0.6%) (3.8%) ⑤備品の充実 大変満足36.8%、満足41.1%、普通18.4%、不満足0.6%、非常に不満足0.3%、未記入2.8% (25.9%) (37.3%) (28.5%) (3.2%) (0.4%) (4.7%) ３ コミュニティセンター利用による効果 文化活動への参加増10.0%（9.9%）、スポーツ活動への参加増4.9%（12.9%）、 レクリエーション活動への参加増9.3%（8.0%）、地域活動への参加増9.1%（6.2%）、 健康増進20.8%（23.4%）、地域との連帯感強化4.9%（4.3%）、 生涯学習25.8%（17.7%）、その他8.3%（4.8%）、未記入7.0%（12.7%） （３）未利用者アンケートについて（淑徳大学の文化祭） 施設利用者の傾向として、６０代以降の方の利用が多く、若い世代の利用が少ないことを踏まえ、 淑徳大学の文化祭に来館される学生や家族連れを対象に実施した。 回答は、「知っているが利用したことがない」32.3%、「知らない」35.5%、合計67.8%と ６割以上の方が未利用者という結果となった。利用しない一番の理由は「何を行っている 施設かわからない」という回答であった。また、情報収集の手段については、 「SNSを含むWeb媒体」が42.5%と大きな割合を占め、中でも「Instagram」が全体の 26.7%であった。稼働率に改善が見られているものの、施設知名度は依然高くない 現状を踏まえ、今後も多様な媒体での情報発信に努めていく。	

（２）市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
料理実習室にフライパンにちょうど良いフタ、漂白・除菌スプレーがあると良い（分館）	フライパンのフタ、漂白スプレーを購入し、常設した

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営を行うことができた。 【本館】 1 令和6年度の施設稼働率(諸室)は62.8%だった。要因としては令和5年度、令和6年度の様々な地域連携や外部に向けて精力的に活動をし、情報発信を続けた事で、利用者が増えていった。結果として、新規登録数においては過去6年間で最高の481件の登録があった。 2 提案された自主事業を的確に実施し、地域との連携や利用者の関心を惹きつける取組を展開した。1階ロビーにおいては、サークル支援の一環として「ロビーギャラリー」や「ロビーコンサート」を継続的に実施。加えて、地域の魅力発信を目的とし、学生団体NP0法人Dropsの協力を得て蘇我地区の写真展を開催したほか、「フェスのまち蘇我実行委員会」の協力により、「ROCK IN JAPAN」歴代ポスターの展示を行った。来館者が展示の様子を写真に収める姿も多く見られ、関心の高さがうかがえた。さらに、ジェフユナイテッド市原・千葉の写真展も実施し、当館で活動するジェフ応援団との協働で応援幕の展示および来館者からの応援メッセージの募集を行ったところ、多くの参加と反響があった。また、新規に10件の自主事業を立ち上げ、いずれも地域団体との協力を得ながら実施し、地域との連携強化にも寄与した。 3 施設維持管理業務では施設の安全性と利用者の安心を最優先に掲げ、計画を上回る15項目にわたる修繕を実施。施設機能の維持と快適な利用環境の確保に寄与した。加えて、今年度は利益還元の一環として、体育館アリーナの排煙窓シールを修繕し、雨漏り防止対策を実施。さらに保守管理においては、当初提案に含まれていなかった空調設備ポンプの分解整備を自主的に実施し、空調の安定稼働と施設全体の管理品質向上を図った。 【分館】 1 令和6年度の施設稼働率(諸室)は46.4%だった。令和5年度は43.4%（6年度は5年度より3%増加）と年々稼働率は上がっている。要因は、地域住民、近隣自治体への認知度向上へ努めたこと（地域連携・情報発信等）により、去年よりも更にコミュニティセンターの存在が周知されてきた結果と捉える。 2 自主事業について、提案事項を適切に実施した。また、現在利用者から高いニーズがある自主事業は継続し、地域住民の新たな要望に合わせた自主事業「やさしい体幹トレーニング」等17件を新たに実施してきた。幅広い世代の方が参加できる、趣味・健康・運動・リフレッシュなど様々な自主事業を企画し、その上で地域の拠点、交流の場として機能し、コミュニティセンターの周知および利用増加に繋げることができた。地域とのふれあいが実感できる、夏季・冬季の年2回のハーモニーフェスタ(CCまつり)では、プラザ内の施設と協力し、演奏やダンス等の発表、作品展示や販売を行い、プラザに関わる全ての人たちとともにお祭りを盛り上げることができた。 3 施設維持管理業務については、日々の点検にて備品の適切な管理を行い、故障箇所への早急な対応を実施。ハーモニープラザの設備管理者と密に連携をとり、利用者に安心して快適に利用できるよう努めた。
----------	---	----	--

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	成果指標に係る数値目標の達成はされなかったが、分館の施設稼働率（諸室）は成果目標を達成する等、昨年度に比して数値が改善されており、市が指定管理者に求める水準を概ね満たす管理運営が行われていたと考える。 1 分館の施設稼働率（諸室）は達成率103.1％であり、数値目標を達成できている点は評価できる。 2 自主事業については、提案事項を概ね適切に実施し、利用者の要望を反映しながら、両館共に10件以上の新規事業を立ち上げている点は評価できる。 3 施設管理については、日々の点検を適切に行っており、特に本館では体育館の雨漏り防止策を効果的に実施するなど、両館共に計画額以上に修繕を実施しており、利用者の利便性向上に努めている点は評価できる。
----------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

(1) 千葉市中央区蘇我コミュニティセンター ア 市の作成した年度評価案の妥当性について 市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される イ 管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について (ア) 顧客満足度調査について、施策の満足度を図る設問を設定し、利用者のニーズ把握に努められたい (イ) 周辺施設との連携、及び差別化された事業を展開し、利用者数増加を図られたい (ウ) 分館ハーモニープラザについて、効果的に広報活動を実施し、稼働率（諸室）の目標を達成しているは評価できる (エ) 諸室の利用目的を限定的とせず、広く市民が利用できるように工夫された運営をしている点は評価できる。 (オ) 指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、利益は確保されていることから、倒産・撤退のリスクはないと判断される
--